

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	主体会KIDSデイサービス		
○保護者評価実施期間	令和8年年 1月 5日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	令和8年年 1月 5日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●理学療法士や作業療法士を含む国家資格を持つスタッフが揃っている点。	●児童指導員、保育士、作業療法士が専門的な視点から多角的に子どもの生活・学習・身体機能を評価している点。	●見学の受け入れを随時行い、施設の透明性を確保すること。
2	●完全バリアフリーの施設であること。	●個人の発達段階に合わせた活動メニューの提案を行っている。	●サービス提供時間の柔軟な相談対応により利用者ニーズに合わせたサービスを模索すること。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	見学の受け入れを随時行い、施設の透明性を確保すること。	利用者ニーズの変動に対して、限られた定員数や駐車場スペースが対応可能か。	将来的な拡張を見据えた、スタッフや施設インフラの増強。
2	駐車場が時間帯により5～10台と変動するため、利用者が駐車場利用に困る場合がある可能性。	スタッフは5名と少人数のため、各スタッフの負担や忙しさが課題となる可能性。	利用者やその家族の声を積極的に取り入れ、サービスの柔軟性を高める取り組み。
3			地域のニーズに合わせた新たなサービスやプログラムの開発を考慮する。